

公募の位置づけならびに申請後の流れ

Interstellar Initiative全体における公募の位置づけは次の通りです。

本公募はニューヨーク科学アカデミーと共同して世界で同時に公募を実施します。応募フォームに登録いただいた内容はInterstellar Initiativeの参加者採否決定とその後のチーム編成のために使用されます。配賦される研究費を使用しての委託研究開発の内容は、応募時の申請とは異なる内容となります。

応募申請

日本国内の研究者と、海外の研究者で申請方法が異なります。また、チームとしての申請ではなく、各研究者による個人での申請となります。

■日本国内の研究者
(日本国内の研究機関等に所属する外国人研究者を含む)

- 1) 応募フォーム申請(共通)
- 2) e-Radの登録

AMEDの公募ページに要領等の関連資料、応募申請フォームへのリンクが掲載されています。



■海外の研究者
(海外の研究機関等に所属する日本人研究者を含む)

- 1) 応募フォーム申請(共通)

ニューヨーク科学アカデミーホームページ



ニューヨーク科学アカデミー: ワークショップの開催実務委託先

公募

登録された情報をもとに審査し、採否(当年度のInterstellar Initiativeに参加する研究者)を決定します。

応募者へ採否通知を送付します。

応募申請の情報や評価委員会での議論をもとに、採択された研究者を3名1組の国際的・学際的チームに編成。
※各チームに日本の研究機関に所属する研究者を1名ずつ含む

ワークショップ開催(2025年9月17日-19日) 各チームがメンターの指導のもと、研究計画を作成。

医療分野(2025年度のテーマは「生体の複雑な機能解明のための基礎研究(Basic Research to elucidate the complex mechanisms of living organisms)」)でまだ解決されていない難課題に対し、チーム一丸となって学際的なアプローチで挑む研究計画を作成します。議論の結果、ご自身の応募申請内容がそのままチームとしての研究計画になるケースも想定されますが、他のメンバーの応募申請内容がチームの研究計画になるケースや、最も多く想定されるケースとして、各チームメンバーの申請内容とは全く異なる新しい内容がチームとしての研究計画になるケースも想定されます。そのため、応募申請内容と実際に委託研究開発費で実施する内容は基本的に異なるものになります。

ワークショップでのチームディスカッションの結果をもとに委託研究開発関連書類(研究開発計画書、経費内訳書等)を日本国内に所属する研究者が作成し、AMEDに提出

AMEDが各チームの日本国内の研究者の所属機関と委託研究開発を締結。(契約関連書類が準備でき次第)

各チームに研究開発費を配賦、チームメンバーでのディスカッション(出張・招聘等による対面会議など)や作成した研究計画の実現可能性等を検証する実験を実施(委託契約締結後、2025年度末まで)

成果発表会(2026年2月初旬ごろ、日程未定): リモート会議にてチームで作成した研究計画を発表